

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

- (1) 本大会は2009年（財）日本陸上競技連盟競技規則及び、本大会要項を適用するが、児童であることを考慮して、教育的配慮のもとに行う。

2. 競技者受付について

- (1) 当日受付にて、ナンバーカードとプログラムを配布する。ナンバーカードは、競技を行う際に着用するランニングまたはTシャツ等の胸と背に、四隅を安全ピンでとめる。
- (2) トラック競技出場者には、招集時に腰ナンバーカード（写真判定のために使用）を貸与する。右腰やや後ろに取り付ける。競技終了後フィニッシュライン付近の箱に返却する。

3. 招集について

- (1) 選手招集は、トラック競技・フィールド競技ともに、100mスタート地点脇のダグアウトで行う。
- (2) 招集時刻は、その競技の開始時刻を基準として、下記のように行う。

	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	80mH・リレー 予 選	30分前	20分前
	100m・800m・60mH・80mH・リレー 決 勝	20分前	10分前
	60m決勝・100m予選(1～8組) (9組～)	30分前 20分前	20分前 0分
フィールド	決 勝	40分前	30分前

- (3) 代理人による招集は一切認めない。但し、同時に2種目出場するものは、事前にその旨を競技者係に申し出て、審判員同士の話し合いの上、競技に参加させる。
- (4) リレー競技に出場するチームは、**招集完了時刻60分前までに**オーダー用紙を競技者係へ提出する。（オーダー用紙は招集所で競技者係から受け取る）決勝でオーダーが変わる場合は招集完了30分前までに提出する。変わらない場合は提出する必要はない。
- (5) 招集に遅れたものは失格になることがあるので、招集時刻を厳守すること。
- (6) 招集場所へは、競技に出場する際のナンバーカードをつけたランニングまたはTシャツを着用し集合する。

4. 競技方法について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順で実施する。
- (2) トラック競技の決勝の組み合わせ及び走路順は本部において公正に抽選し決定する。発表は掲示並びにアナウンスによる。
- (3) スパイクシューズを使用することができるが、スパイクピンは9mm以下を使用する。また、素足での競技出場は、火傷の危険があるため禁止する。
- (4) 60m、100m、60mH、80mH、4×100mR第1走者のスタートはクラウチングスタートでもスタンディングスタートでも構わない。スターティングブロックは必要に応じて使用してもよい。（予選決勝を問わない）セッティングを速やかに行う。

* スタートに関するルールは全国大会に準ずる。

同一人が2回不正出発した場合は失格とする。
ただし競技には参加させ記録は参考記録とする。

- (5) 800m以外のトラック競技の場合、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走り、他のレーンに入らない。
- (6) 800mのスタートは、レーンを使用しない。
- (7) ハードル競技は下記の規定で行う。

種 目	スタート～第1ハードル	高 さ	イターバル	台数	最終ハードル～フィニッシュ
3・4年生 60mH	12m	60cm	6m	7台	12m
5・6年生 80mH	13m	70cm	7m	9台	11m

- (8) リレーにおける第1, 第2, 第3走者はテークオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーンにとどまる。テークオーバーゾーン手前からの助走マークの使用は認める。マークは各チームで用意し、レース後前走者が必ず取り外す。
- (9) 3・4年生60m、3・4年生60mH、5・6年生800mは決勝のみとし、タイムレースで1位～8位までを決定する。5年生100m、6年生100m、5・6年生80mH及び4×100mRは、予選の上位記録8名(チーム)を決勝進出とするが、同記録者(チーム)[1/100秒単位]が出た場合は抽選とする。ただし同一組の場合は順位を優先する。
- (10) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とする。マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。第1位決定のバーの上げ下げは2cmとする。

走高跳のバーの上げ方

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子5・6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後最後の1人になるまで5cmきざみ
女子5・6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後最後の1人になるまで5cmきざみ

- (11) 男女3・4年走幅跳、ソフトボール投決勝は3回の試技で順位を決定する。
- (12) 男女5・6年走幅跳、ソフトボール投決勝は3回の試技を行い、上位8名が残り3回の試技を行う。この場合、走幅跳はそのままピットを変えないで行う。
- (13) ソフトボール投は公認1号球を使用する。競技場所はやり投ピットで行い、投てき角度はやり投と同じとする。助走距離は15m以内でスパイクを使用してもよい。
- (14) 男女ソフトボール投は、各競技者とも**連続3回の試技**を行う。

5. 表彰について

- (1) 各種目8位までに賞状を授与する。第1位～第3位はメインスタンド前で表彰を行う。第4位～第8位は結果発表30分後に本部(表彰係)まで取りに来る。

6. 競技場使用規定(競技場使用上の注意)

- (1) 競技場は、大切にきれいに使用する。
- (2) グラウンド内は、運動靴又はスパイクシューズを使用する。また、グラウンド以外(スタンド・ダッグアウト・本部・アスファルト舗装面等)は、スパイクシューズの使用は禁止とする。
- (3) ゴミは各自持ち帰る。また、競技場近辺やコンビニ、駅等に捨てていかない。
- (4) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管すること。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意する。

7. 全国小学生陸上競技交流大会東京都代表について

次の種目の優勝者、優勝チームは、平成21年8月28日(金)～29日(土)に神奈川・日産スタジアムで開催される「第25回全国小学生陸上競技交流大会」に派遣する。

【男女とも共通】 5年生100m 6年生100m 5・6年生80mH
5・6年生4×100mR 5・6年生走高跳

5・6年生走幅跳 5・6年生ソフトボール投

* リレーと他の種目に優勝した場合は、リレーを優先とする。(全国大会のリレーは5名で申し込む。)

該当者は競技終了後直ちに本部の普及部において全国大会参加の手続きをする。

(財)日本陸上競技連盟への申し込みは7月23日(木)までです。

8. その他

- (1) 競技中の事故については、主催者が応急処置を行うが、以後の処置は各自が行うこと。
- (2) 記録証は希望者に1部300円で発行するので大会本部に申し出ること。
- (3) 更衣は自宅ですてくる。
- (4) 大会運営、競技に関する問い合わせは、大会総務に連絡すること。

練習について

最近、競技会において練習中の事故が多発しています。事故が起きないように十分に注意してください。

- 1 必ず指導者、あるいは保護者がついて行う。
- 2 場内司令、練習場係の指示に従う。
- 3 逆送しない。
- 4 走り終わって直ぐに左右に曲がらない。後方を確認してから走路外に出る。
- 5 走路上で立ち止まっていない。
- 6 走路を横切るときは左右を確認する。
- 7 大勢の児童が参加するのでお互いに譲り合って練習する。
- 8 フィールド競技の練習は、競技開始前に競技役員の指示に従って行う。

練習場所と時間帯

トラック全周	8:30~	9:15	
バックストレート	9:15~	13:20	
リレー練習	女子	5・6レーン	
	男子	7・8レーン	
	14:15~	15:20	
リレー練習	女子	5・6レーン	
	男子	7・8レーン	

ハードル練習

ホームストレート	8:45~	9:15
バックストレート	13:00~	13:20